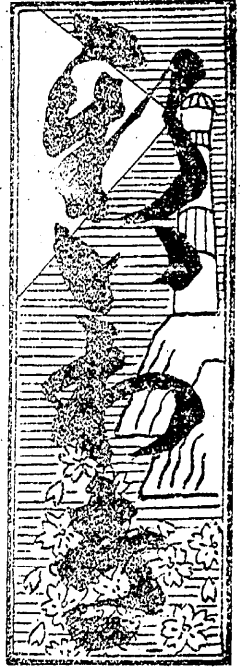


刊夕日十三月七



休日 日曜 祭日  
一ヶ月 廿五銭  
郵税十五銭 一行四〇銭  
場所指定 廿五銭  
発行兼編輯印刷人  
中谷政 喜  
新いわき新聞社

### 竣工式もた延びる

#### 議員功勞金は六百圓

##### 労働者への給與金は計算中

##### 式は舊盆後の八月下旬か

平町が町長及び町議等に贈贈問並に町議に贈る功勞金の功勞金の爲め委員の再は重ねて開催する全議員を議を重ね八月月中旬に開催委員とする水道工事委員の行されるであらうと見られ總會に於て決定するまで發行した水道擴張工事竣工式はまた一延期されて八願間に五百圓伏見町長に三月下旬頃となる模様である五百圓は初期の小委員會今回の延期は八月下旬が舊に於て既に之れを決し硬軟盆を控へての多忙もあり且兩派に議論を交へた町議の功勞者に給與する慰勞金功勞金は此の際軽少な經費五十日以上の従業者に對を以て記念品の程度に止めし一日二銭つゝ此の實人やうとする意見は要決に上員百四十九人延人員三萬つて町長の提案支持に敗れ一千六百四十六人總金額たらし其の金額は議員一名五百四十七圓を目下計算中であると云ふ圖と云はれてゐる。

### 流言は乱れ飛ぶ

#### ピストル強盗にからむ

##### 笑へぬ悲喜劇一つ二つ

ピストル強盗犯人捜査にか亂れ飛ぶやれ好問にも強盗らんで様々の悲喜劇が演がたつた犯人は捕つたなどじられてゐるがその一つ二と全るで見て来た様なデマ事件の夜好問村方面に住をたす者がありピストル一人の鐵道員は自分の乗強盗は昨今の涼み臺談の込む列車の時間に遅れじと好話題となつてゐる。深夜の城山地内を一目散に駆け出してゐる所を非常線に引つかかり漸く話を話して放還された時は發車時刻に間に合はなかつたといふから關係者を招き試食會を開く。

### 人相が分らぬため

#### 強盗犯人捜査頗る困難

##### まるで目星つかず

永山和平方に押入つた三人三十日には横山課長及び長組ピストル強盗犯人について部長も来平へ捜査方針にては平署では昨徹の如く直就に協議したが何分犯人のらに非常線を張り捜査に血人相等が全く判らぬため捜眼となつてゐるが昨日午後捜の目星付かず頗る困難を呈刑事課の鯉淵水席警備補極めてゐるが犯行當夜の宵並びに吉田部長が來援し今状より推して案外近地に潜

### 水道使用量も増加

去廿五日以後の平町の上水道使用量は(單位立方尺) 昨 年 本 年  
廿五日 二二、三〇〇 二二、六〇〇  
廿六日 二二、一〇〇 二二、七〇〇  
廿七日 二二、三〇〇 二二、七〇〇  
廿八日 二二、三〇〇 二二、七〇〇  
廿九日 二二、四〇〇 二二、八〇〇  
三十日 二二、五〇〇 二二、九〇〇

### 初秋蚕掃立て四割減

悲惨な山間地方農村

石城地方山間部では毎年若は一萬枚を掃立てたが之も千宛の夏蠶掃立てをなして前記同様の理由から約四割減たが本年は不況で蠶紙の減少らしいと云はれ關係買へず亦施肥不足や日照り者は頗る憂慮してゐる、尚續きのため桑葉枯れが多い晩秋蠶は昨年は一萬五千枚ため夏蠶の掃立ては殆んどを掃立てたが之も相當減少なかつた、又初秋蠶は昨年するものと見られてゐる。

### 世が世なら馬にも

#### バス・コントロール

これも矢張り不況のため

石城郡の産馬は、數年來の多くなり殊に郡下屈馬産馬畜産組合技術員の献身の優良馬産地として郡内牛的努力によつて遂年馬格向産馬三千頭の中四割強七八上生産頭數もまた年毎に百頭を占める上遠野、入涼増加しつゝあつたが昨年野方面にこの傾向が甚しく極度の財界不況から買買債昨年からは百頭近い減格が著しく低落し今年の如少を示してゐるので郡産馬一頭平均三十五圓前後といふ馬鹿安相場を現出した組合では對策研究中であるため到底生産費の採算とれずとあつて生産中止、或は生産頭數の減少を圖るも

探偵 五人殺 (一) 敦野 骨助  
話はグット古くてエログロナンセンスなどの悪疫未だ流行せざる明治卅一年頃の出来事である。横須賀の海兵團にと云ふ水兵が居た。上で勤務して居る口曜日一隣の人々が如何したのだから證據物件が只の一つもなかつた。玄關にひかみさんと主

不況風にあふられ 煽風機使用者減る  
當て込んだ税金入らず  
縣稅務當局しよげ返る  
縣稅務中出張所では夏夏の店などで一般家庭の使用者を求めセン風機稅徵收が少くなつたやうで郡下のため目下各町村に命じて使用者數を調査中であるが力半營業所では現在百六十昨年雨天続きであつた五個しか供給して居る昨年使用者僅か二百二十名に比し二十五個の減少で捕過ぎず稅收入に大きな見込田電力でも昨年の三十個より減りを生じたが今年も結局今年のセン風機使用用に入つてからの酷暑続きで結局今年のセン風機使用用に入つてからの酷暑続きで結局今年のセン風機使用用に入つてからの酷暑続きで結局今年のセン風機使用

桃の試食會  
縣農試石城分場の桃は技術員の丹精で頗る見事に成熟したので三十一日午前十時から關係者を招き試食會を開く。  
暑さは續く  
本年最高は廿六日土用に入つて以來うなぎ上りの暑さは昨今に入つて漸り絶頂に達した、廿五日以來の最高温度は縣農試石城分場調査によると廿五日34

國道舗裝促進  
平町では例の國道舗裝が立將校連からは可感がられ同僚から信頼された。當時軍人さん達は日曜の休日を生徒がドヤドヤガヤガヤ通供が倒れてゐた。五人共肩を打たれた疵はあるが刀を打たれた疵はあつた。兇器の他の證據物件が只の一つもなかつた。玄關にひかみさんと主

不況風にあふられ 煽風機使用者減る  
當て込んだ税金入らず  
縣稅務當局しよげ返る  
縣稅務中出張所では夏夏の店などで一般家庭の使用者を求めセン風機稅徵收が少くなつたやうで郡下のため目下各町村に命じて使用者數を調査中であるが力半營業所では現在百六十昨年雨天続きであつた五個しか供給して居る昨年使用者僅か二百二十名に比し二十五個の減少で捕過ぎず稅收入に大きな見込田電力でも昨年の三十個より減りを生じたが今年も結局今年のセン風機使用用に入つてからの酷暑続きで結局今年のセン風機使用用に入つてからの酷暑続きで結局今年のセン風機使用用に入つてからの酷暑続きで結局今年のセン風機使用

### 新益用戒名入

提灯 斷然廉價

弊店は場所不便の代償として大々的勉強を致し、まず以上技術共に皆様の御満足を得らるゝ様

自信ある良品を思ひこゝへ、安張りのから自として、自家製、平町橋小路丁金子提灯店



よろこぶさいますか！  
川うちりますよ！

中島寫眞館  
平町字田町

◆夏の装飾と盆栽の配置  
◆数ヶ所に備付ける旋風器  
◆夏を知らぬ食堂の涼しさ  
そしてほがらかな女給のサービス

平 驛 前  
カフエー夕ヒラ  
(電六二〇)  
◆冷たいおビールソーダ水  
◆特製アイスクリーム

入院 應 需

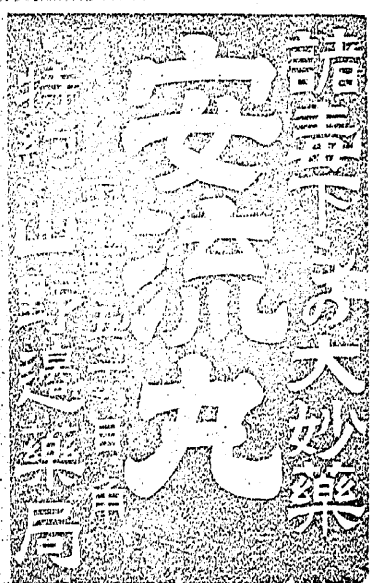
明雲堂眼科醫院  
平驛前(電話六六九番)

△自炊の便あり△

内科、小兒科  
外科、花柳病科  
耳鼻咽喉科  
レントゲン科

平町田町、電話五二三番

院長 醫學士 高久忠



内科、小兒科

大森醫院  
醫學士 大森 勇  
平町南町  
(電二五八番)

壁材料の相談は當店

壁材料の相談は當店

戸障子用金具類  
石炭、セメント  
春光壁、角又、  
消光塗料、  
人造石、色砂、  
フリス、麻葛、  
マーブル、  
マノール防水劑  
クレオソート、  
タタキ、

難波醫院  
内科、醫學士 難波睦  
一般、博士  
平町大町新川端  
(電話五〇二番)

平町 市原醫院  
病淋・毒梅・科兒小・科外内  
(番四一一話電)

平町 應需入院  
藤沼醫院  
電話五〇七番

音響を美しくする  
超仁  
價七百八十円  
價一千七百八十円  
價二千七百八十円  
價三千七百八十円  
價四千七百八十円  
價五千七百八十円  
價六千七百八十円  
價七千七百八十円  
價八千七百八十円  
價九千七百八十円

地方代理店 平町 山野透藥局  
特約店を募集す

盛夏サロンの新装  
アイスクリーム (十五錢)  
タンク入りソーダ水(十五錢)  
どうぞ御用命を

田町サロンの  
電話三五二番

債券、公債、兩替、金融

多田井質店  
平町大工町  
電話五九一番

朝日  
煙突は  
朝日  
石綿セメント製  
煙突

總店に  
お任せ  
やけたい  
くさりたい  
経済的で  
火災の心配がない

益屋商店

外科、醫學士 内木宗八  
産科、醫學士 長木村寅次郎  
平町新川町一九  
(電話一六四番) 木村病院

仲町に洋服屋が出来ました  
工賃本位が弊店のモットー

迅速の追従を許さぬ勉強  
平町仲町一五番地  
最新流行 信天洋服店  
店主 齋藤一平